

日本、中国とドロー

好機生かせず0-0



前半、大久保⑬はボレーシュートでゴールを狙う

サッカーの東アジア選手権が6日、東京・味の素スタジアムで開幕し、男子は日本が中国と無得点で引き分けた。前半から一進一退の攻防を繰り広げ、後半9分にはDF内田（鹿島）の右足シュートが左ポストをたたく場面もあったが、好機を生かし切れなかった。日本は2日の親善試合、ベネズエラ戦に続く無得点引き分け。

女子は2連覇をめざす日本が中国を2-0で破った。前半にMF宮間（ロサンゼルス・ソル）が直接FKを決め、後半にDF近賀（日テレ）が追加点をあげた。

大会は男女それぞれ4チームで総当たりを行う。男子はほかに韓国と香港、女子は韓国と台湾が参加。日本の第2戦は男子が香港戦、女子が台湾戦で、ともに11日に東京・国立競技場で行われる。

日本	0	0-0	中国
	0	0-0	